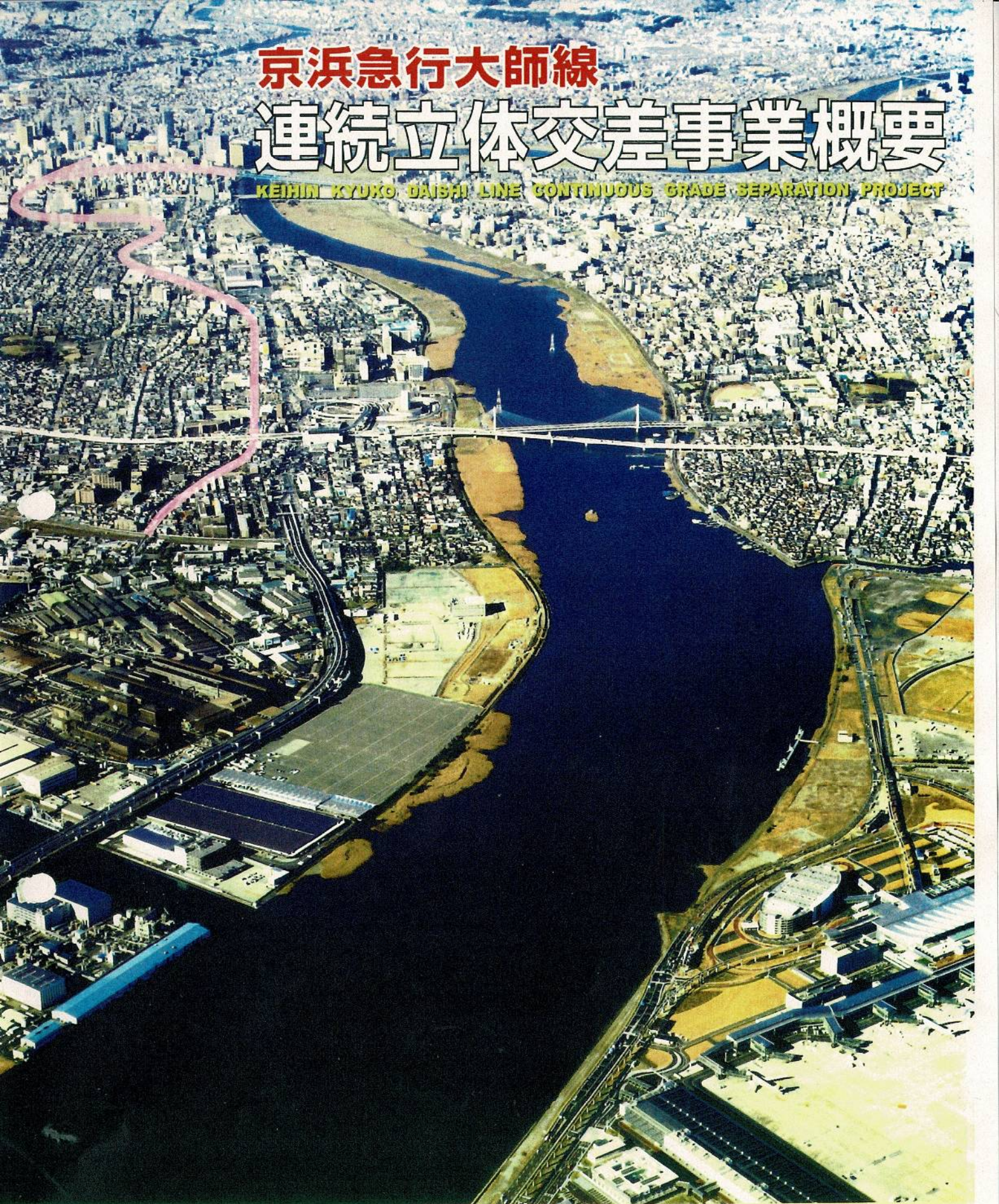


京浜急行大師線

# 連続立体交差事業概要

KEIHIN KYUKO DAISHI LINE CONTINUOUS GRADE SEPARATION PROJECT



THE CITY OF KAWASAKI  
川 崎 市



Keikyu Corporation  
京浜急行電鉄株式会社



# 事業のあらまし

Brief description of the project

川崎都心部と臨海部とを結ぶ京浜急行大師線は、市民生活や産業活動を支える重要な鉄道です。しかし、道路と鉄道が平面で交差する踏切は、近年の交通量の増大に伴い、踏切における交通渋滞の大きな原因となっており、くわえて市街地との一体的発展の障害ともなっています。

川崎市では、このような現状の抜本的な解決を図るため、大師線の連続立体交差事業を計画しました。この事業は、大師線のほぼ全線を地下化し、都市計画道路国道409号線をはじめとする計14箇所の踏切を除却するものです。

これにより、踏切事故の解消、道路交通の円滑化を図るとともに川崎縦貫道路等とあわせて、都市基盤整備や街づくりにも、大きな役割を果たすこととなります。

なお、この事業は、川崎市の都市計画事業の道路整備の一環として、国土交通省の国庫補助を受けて施行するものです。

事業の推進にあたりましては、地元の皆様のご協力をお願いいたします。

Keikyu Daishi Line is an important mass transit railway, linking the central urban area of Kawasaki to the near waterfront area.

But the rapid progress in motorization and the increase in the number of railway passengers has begun to result in a number of traffic jams at railway crossings, which are becoming an increasingly large obstacle to the urban activities.

To counter this, a project called "The continuous grade separation project" whereby railway with many crossings are uniformly routed underground, is being implemented as a measure of road construction.

The completion of this project, resulting in the elimination of railway crossings and traffic jam that restrict urban activities, will make urban traffic safer and smoother. This will have a strong impact on the renewal and activities of the urban areas.

## 計画概要

Outline of the plan

Name project planning

都市計画の名称

Kawasaki City Planning Urban Rapid Railway Keihin Kyukou Daishi Line

川崎都市計画 都市高速鉄道 京浜急行大師線

The project section

事業区間

Keikyu-Kawasaki sta. ~Kojimashinden sta.

京急川崎駅～小島新田駅

Total length

延長

約5.0km (地下式約4.5km、地表式約0.5km)

Number of railway crossings to be eliminated

除却踏切数

14か所

## 幹線道路の踏切現況

Present railway crossings

シロヌキ数字は踏切番号を示す



⑤⑥ 都市計画道路国道409号線と川崎大師駅



② 都市計画道路国道409号線 京急川崎(大)第2踏切



⑩ 都市計画道路東京大師横浜線 産業道路第1踏切



# この事業が果たす多様なまちづくり

Various impacts on urban planning

- 14か所の踏切が一挙になくなり、事故の危険と交通渋滞の原因が取り除かれるため車の流れが円滑になり、環境が改善されます。
  - 鉄道による分断が解消され、地域の一体化が図られます。
  - 再開発事業や面的都市整備事業など魅力あるまちづくりの実現に大きな役割を果たします。
  - 鉄道の制約を受けずに、望ましい道路が計画できます。
  - まちのシンボルとしての駅が整備され、人の流れもよくなり、まちが活性化します。
  - 中心市街地にルートの一部を移すことに伴い、新駅の設置が可能になり、地域の利便性の向上が図られます。
- The elimination of crossings makes urban traffic safer and smoother, contributing to comfortable urban environment.
  - This project integrates urban areas that were previously separated, increasing the function of the city.
  - This project gives an opportunity for the promotion of related projects such as urban redevelopment, leading to desirable urban planning.
  - The absence of the ground level railway gives a chance for planning new roads.
  - Rebuilding station facilities as a local symbol spot provides urban amenities and safer-easy access.
  - Re-routing to the urban axis makes it possible to plan a new station which gives more easy access to the central urban areas.

## おもな経緯

S49.11.25	踏切道改良促進法に基づく第8次立体交差化指定(京急川崎(大)第2踏切)	H4.10.6	都市計画案の公告縦覧
S58. 3	「2001かわさきプラン」に連続立体交差事業の検討と具体化の位置づけ	"	環境影響評価の告示縦覧
S62.11.18	川崎都心臨海部交通施設整備計画委員会にて基本ルート合意	10.12 ~	環境影響評価地元説明会
S63. 7.13	踏切道改良促進法に基づく第13次立体交差化指定(計12か所)	12. 7	環境影響評価修正報告書縦覧
H1. 8 ~	計画案の地元説明会	H5. 3. 4	川崎市環境影響評価審議会答申
H3. 3.10	都市計画素案の地元説明会	3.11	川崎市都市計画審議会答申
		3.30	神奈川県都市計画地方審議会答申
		6. 8	都市計画決定(県告示第595号)
		"	環境影響評価審査書公表(市告示第194号)
		H6. 3.29	都市計画事業認可(県告示第263号)

## 大師線の変遷

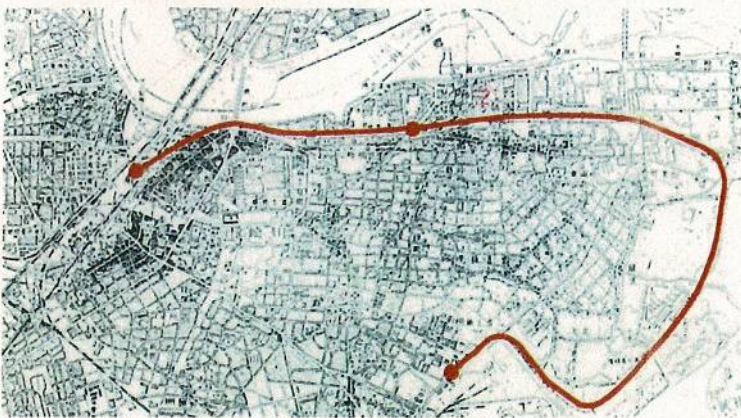
Changes in Daishi Line

京浜急行大師線の沿線地帯は、多摩川河口における洲の発達により形成されてきた地区です。明治末期から海運や立地の良さに着目され、多摩川沿いや川崎駅周辺に工場が立地し始めました。

さらに、明治45年川崎町の工場招致政策を期に大規模工場の立地が、多摩川沿いから内陸部へ拡大され、新たな重化学工業のために海面埋立が行われました。このような工業化に伴い、内陸部では工業を支えるための労働者の住宅づくりのための市街化が進展しました。当初は大師参詣客のための鉄道だった大師線は、沿線地区の変遷に伴いルート変更、延伸を重ね、一時は他の鉄道や市電と連絡して環状線を形成したこともありました。その後、臨海部における貨物操車場への土地利用政策に呼応して、昭和39年小島新田～塩浜間の営業を廃止し、現在に至っています。



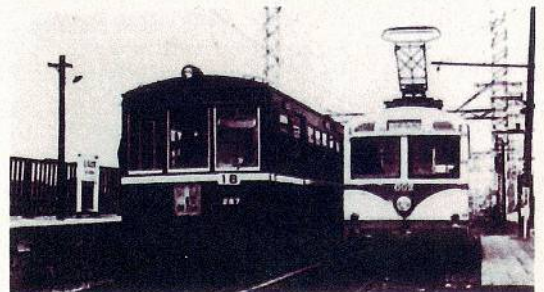
①M32 六郷橋～川崎大師間営業開始 Inaugurated in 1900



②S20 桜本まで延伸 Most extended in 1945



大師街道における四輪客車の連結運転  
車輛は開業当初の車輛だと推定される



川崎市電と連結する塩浜駅  
(写真は京浜急行八十年史から)



# 京浜急行大師線位置図

Location



## 除却される踏切道

Railway crossings to be eliminated

踏切道名称	道路名	幅員	道路種別
① 京急川崎(大)第1	本町8号線	11.0m	市道
② 京急川崎(大)第2	国道409号	20.0m	国道、都市計画道路
③ 港町第1	港町1号線	7.0m	市道
④ 港町第3		11.0m	私道
⑤ 鈴木町第1	鈴木町1号線	14.0m	市道、都市計画道路
⑥ 川崎大師第1	国道409号	25.0m	国道
⑦ 川崎大師第2	大師本町3号線	6.0m	市道
⑧ 川崎大師第3	大師本町5号線	6.0m	市道
⑨ 川崎大師第4	東門前1号線	6.0m	市道
⑩ 東門前第1	東門前6号線	8.0m	市道
⑪ 東門前第2	東門前8号線	5.5m	市道
⑫ 東門前第3	東門前11号線	4.5m	市道
⑬ 産業道路第1	東京大師横浜線	40.0m	県道、都市計画道路
⑭ 産業道路第2	田町2号線	8.0m	市道

〈注〉⑬産業道路第4踏切道は残存

## 駅施設概要

Railway station Platform Latch Floor

駅名	ホーム形式	駅舎位置
1 京急川崎駅 Keikyū-kawasaki sta.	相対式 Separated	地上 Ground Level
2 (仮称)宮前駅 (provisional name) Miyamae sta.	〃	地下 Underground
3 港町駅 Minato-cho sta.	〃	〃
4 鈴木町駅 Suzuki-cho sta.	島式	地上 Ground Level
5 川崎大師駅 Kawasaki-Daishi sta.	相対式 Separated	〃
6 東門前駅 Higashi-monzen sta.	島式	〃
7 産業道路駅 Sangyodorō sta.	相対式 Separated	〃
8 小島新田駅 Kojimashinden sta.	島式	〃

※小島新田駅のホームは地上

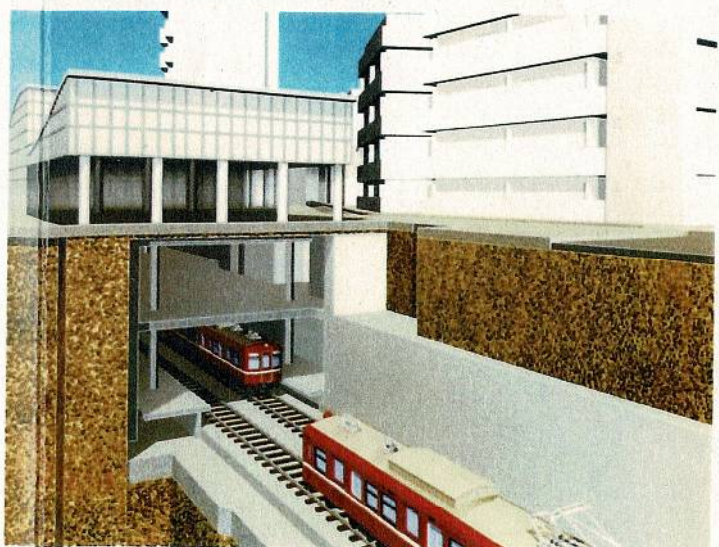
## 完成イメージ図

Perspective image sketch upon completion

市役所通り Section below street in front of The City Hall



産業道路駅 Sangyodorō Station





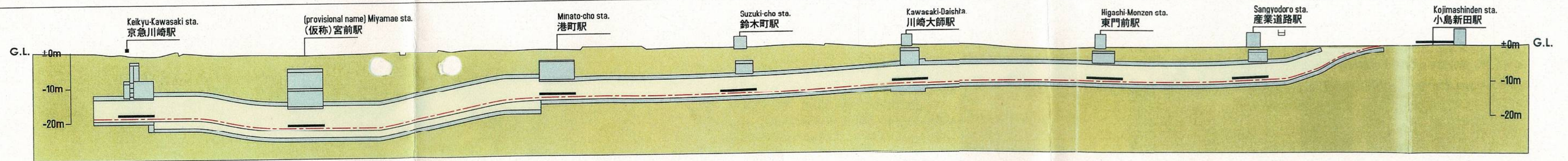
事業平面図

Route diagram



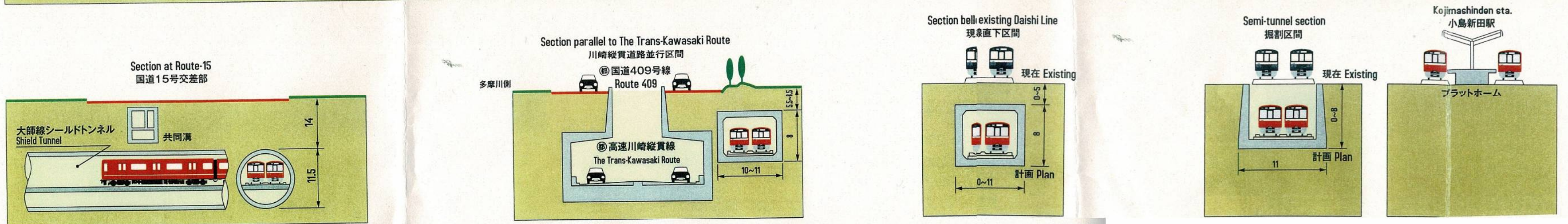
縦断面図

Longitudinal diagram



横断面図

Sectional diagram



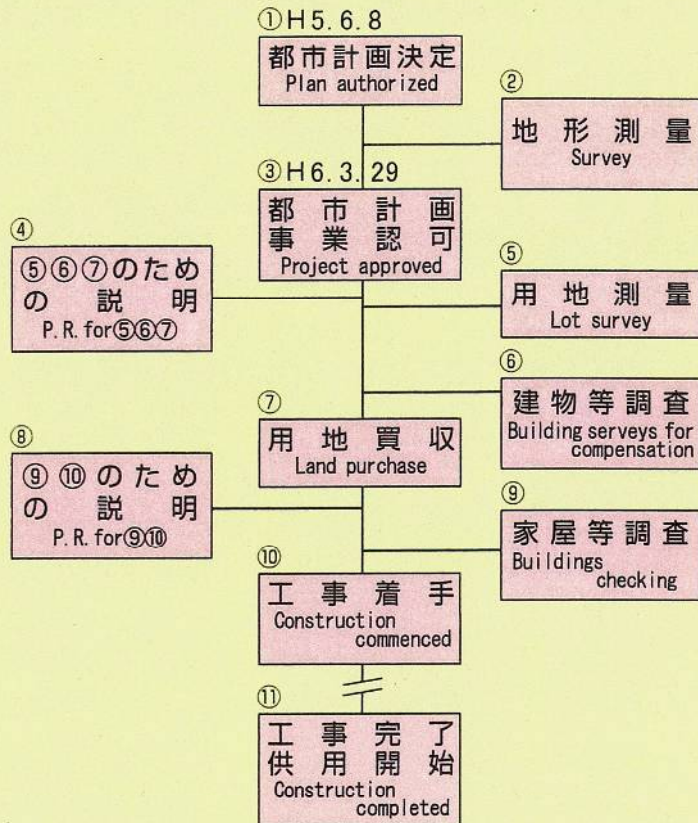
注)寸法は概略



# 事業フロー

Procedure to construction

本事業は、次のような手順で計画を進めております。



## 事業認可後の 建築制限等について

### 建築制限について（都市計画法第65条）

都市計画事業の認可等の告示があった後においては、当該事業用地内において事業の障害となるおそれがある土地の形質の変更、建築物の建築等が制限されます。

### 有償譲渡について（都市計画法第67条）

事業用地内の土地、建物等を有償で譲り渡そうとする方は、当該土地建物等の予定対価の額、譲渡の相手方、当該土地建物に存する所有権以外の権利の種類、内容、当該権利を有する方の住所、氏名を書面で施行者に届け出なければなりません。

この事業についてのお問い合わせは

●川崎市建設緑政局 道路河川整備部 道路整備課  
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地  
TEL.044-200-2747

●京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 立体交差部 大師線連立課  
〒108-8625 東京都港区高輪2丁目20番20号  
TEL.03-3280-9236

